

Start & Challenge

11月4日にリズム音楽祭

親子でリズム楽器を楽しむイベント「親子でふれあうリズム音楽祭vol.2」が11月4日(日)午前10時～午後5時にえきま広場で開催される。入場無料で雨天中止。

代表の関友里さんら打楽器奏者による市民グループ「Rhythm×Life(リズムポリライフ)」が、「音楽の街-狛江」で音楽の原点であるリズムを通して、孤立しがちな子育て中の親が子どもと一緒に楽しめる場を作りたいと、市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受けて開催する。



昨年のリズム音楽祭

昨年に続き2回目となる今回は、子どもの年齢別に3種類のリズムワークショップ、和太鼓体験、アコースティックライブの音楽イベントに加え、雑貨などのマルシェ、キッチンカーなども出店する。ワークショップのみ参加費1人500円(要予約)。

関さんは「音楽の原点である打楽器のリズムアンサンブルを通じて、親子や参加者同士がつながり、異文化交流や地域活性化のきっかけになれば」と話している。

問い合わせはEメール M rhythm.life1107@gmail.com 関さん。

26日にぽかぽかマルシェ

和泉多摩川駅前のぽかぽか広場で26日(日)午前10時～午後4時に「ぽかぽかマルシェ～秋の狛江時間～」(同実行委員会主催)が開催される。

多摩川に近い環境資源を生かしたにぎわいの場をつくるとともに、狛江駅周辺のイベントへの参加が難しい店舗や事業者に出店の機会を提供しようと、和泉多摩川駅前でシェアキッチンを営んでいた同委員会の目伯洋輔代表が企画。市民公益活動事業補助金スタート補助金を受け、今年4月と7月に開催した。



7月のマルシェ

3回目となる今回は「狛江時間を楽しむ3つの一押し体験」をテーマに、マッサージやアロマなどの体験、オリジナル提灯作りのワークショップ(参加費500円)、狛江産食材を使ったマカロンなどの飲食物販売を行う。

実行委員会では、年明けに天候の良い時期を選んで第4回の開催を検討しているという。目伯さんは「市内だけでなく、市外の人にも狛江の良さを知ってもらえるようなイベントにしたい」と意気込んでいる。

問い合わせはEメール M mejiro.yousuke@gmail.com 目伯さん。

Shop & Service Guide .....39

いらっしやいませ

エイソアイ・コーポレーション

(有)エイソアイ・コーポレーションはメンマや蜂蜜など東アジア産農産物の輸入と卸売りをする食品会社。現在は健康食品を中心としたミャンマー産の無農薬食品を多く取り扱っており、一部は同社が指導したミャンマーの現地工場加工している。

買い付けなどを行うのは、同社社長の大島英明さん。大島会長は24歳の時、母校の早稲田大学の教授の勧めで台湾と中国産食材を扱う台湾企業に転職、メンマの輸入を担当した。都市化や工業化が進んで台湾の竹林が減ったため、仕入れ先を中国に切り替え、現地でボイル・発酵・乾燥などの加工をして輸入、日本のラ-



大島さん

ミャンマーのメンマ加工工場

東アジア産農産物を輸入・卸売り  
ミャンマーからメンマなど輸入

☎5761-5167 FAX5761-5168 西野川4-11-11 営業時間=午前9時～午後5時 日曜休み

清水部長ら部員たちは「都大会に向けて励みになりました。目標の全国大会での文部科学大臣賞を目指してがんばります」と話していた。

市役所で初の見学ツアー  
小学生が市の仕事学ぶ

夏休み中の8月21日(日)、「夏休み子ども市役所見学ツアー」が初めて催され、小学3～6年生21人が参加した。

子どもたちに市役所の仕事を知り、地域に親しんでもらおうと催された。松原俊雄市長が「市役所がどんなところか覚えて、将来、市で働いてくれるとうれしい」と挨拶、市のキャラクターや職員数などの「〇×クイズ」や、自分の職員証作りに取り組んだ。続いて本庁舎や防災セ-



市役所を見学する小学生

ンター、ピン・缶リサイクルセンターなどを回って職員から施設や仕事について説明を受けた。議場では市長や議長の席に座ってマイクやモニターの使い方などを体験した。

震災に備え13日に三中で  
物資の受け入れや配布訓練

狛江第三中学校避難所運営協議会(谷田部高史代表)が13日(日)午前9時30分～11時30分に同中体育館で生活物資や支援物資の受け取り、仕

メン店に販売するまでの一連のルートを開拓、メンマ業界で販売1位の実績を築いた。

同社は、大島さんが会社勤めをしていた時に将来を考えて40年ほど前に設立、妻の好美さんが社長に就任した。英明さんは定年を機に平成元年に独立し会長に就いた。

中国からは主力商品のメンマのほかワラゲ、マツタケなども輸入したが、仕入れ価格や加工費の高騰などで新たな輸入先を探すことになった。メンマの原材料となる麻竹の産地探しをしたところ、ミャンマーにあることがわかった。現地で調査と人材探しを行ったところ、日本に留学経験があり日本語が話せる女性と出会い、本格的にミャンマーでの生産に取り組むことにした。同社など日本側3社と現地企業1社との合同で加工工場を建設、麻竹の買い付けからボイル、発酵など一連の作業を行う体制を整え、平成30年から品質の良いメンマを輸入するようになった。その後、ミャンマーの政情が不安定となったが、食材の入荷は順調だという。

大島会長はミャンマーで農産物などを調査した結果、ナツメやプラムの蜂蜜、黒ムクナ豆のお茶、椰子花蜜糖など新たな商品を見つけ、輸入販売にこぎつけた。

同社では商品を企業向けに卸売りするほか、個人にも通信販売している。また、市内では狛江市民まつりに出店したり、狛江市商工会の宅配事業に参加している。

大島会長は、長年にわたる東アジア地域での経済活動の実績を評価され、日本ASEAN経済協力会理事や日本ミャンマー友好協会会員にもなっている。

大島会長は「ミャンマー産の商品販売が増えることで、同国の経済支援にもつながればうれしい」と話している。

フランス人とリモート交流会

白百合の会(竹縄雅章代表)が11月1日(日)午後2時15分～4時に西河原公民館でノルマンディー地方在住のフランス人とリモート交流会を開催する。

同会は平成9年から続くフランス語サークル。毎月3回月曜日午後公民館などに集まってフランスの雑誌を輪読している。会員はフランス映画の愛好者やフランス文学を原語で読みたい人などで年代も様々だ。

同会には、かつて会話を楽しむグループがあり、フランス人との交流を希望する声もあったが、フランス留学経験があり、フランスに友人を持つ人が最近入会したことをきっかけに、リモートによる交流会を開くことになった。

当日は大型スクリーンを使って参加者が自由に会話する予定。同会では、会員以外のフランスに興味を持つ人にも参加してもらおうと10月15日(日)まで参加者を募集する。申し込みは同会へ電話またはEメールで。参加費は無料。また、入会も受け付けている。

申し込み・問い合わせ ☎4361-8380 Eメール M takenawa.albis@festa.ocn.ne.jp 竹縄さん。

スポット

狛高箏曲部が見事な演奏  
都大会優勝に向け励みに

狛江市議会主催の議場コンサートが9月18日(日)に催され、都立狛江高等学校箏曲部(清水紗瑛部長)の部員12人が議員席の前で市の歌「水と緑のまち」など4曲を披露した。議員席などに座った市民など約70人は高校生の演奏に聴き入っていた。同校は、全国大会の予選となる10月6日(日)の東京都高等学校文化連盟の日本音楽部門都中央大会に出場する。



議場で演奏する狛高箏曲部